



安全データシート

この安全データシートは以下の要件に準拠している：
JIS Z 7253:2019

改訂日 2024-10-10
改訂番号 17

1. 化学品及び会社情報

化学品の名称 Melting Solution
製品コード S2733
登録番号 情報なし
安全データシートの供給者の詳細

供給者

日本：
タカラバイオ株式会社
〒525-0058
滋賀県草津市野路東七丁目4番38号
電話：+81.77.565.6972
Web：www.takara-bio.co.jp

中国：
Takara Biomedical Technology (Beijing) Co., Ltd.
Life Science Park, 22 KeXueYuan Road, Changping District,
Beijing 102206, China
電話：+86.10.8072.0980
Web：www.takarabiomed.com.cn

緊急連絡電話番号 In case of emergency, call PERS (Professional Emergency Resource Services)
1-800-633-8253 (US) or 801-629-0667 (international).

化学品の推奨用途及び使用上の制限

意図される使用 研究用途に限る。診断には使用しないこと
使用上の制限 情報なし

2. 危険有害性の要約

GHS 分類

急性毒性(経口)	区分に該当しない
急性毒性(経皮)	区分に該当しない
急性毒性(吸入) - ガス	区分に該当しない
急性毒性(吸入) - 蒸気	分類できない
急性毒性(吸入) - 粉じん／ミスト	区分に該当しない
皮膚腐食性／刺激性	分類できない
眼に対する重篤な損傷性／眼刺激性	分類できない
呼吸器感作性	分類できない
皮膚感作性	分類できない
生殖細胞変異原性	分類できない
発がん性	区分 2
生殖毒性	区分 1B
授乳に対する又は授乳を介した影響	授乳に対する又は授乳を介した影響はない
特定標的臓器毒性(単回ばく露)	区分 3
区分 3 標的臓器影響： 麻酔作用。	
特定標的臓器毒性(反復ばく露)	区分 2
区分 2 男性の生殖器官。	
誤えん有害性	分類できない
水生環境有害性 短期(急性)	区分に該当しない
水生環境有害性 長期(慢性)	区分に該当しない
オゾン層への有害性	分類できない

GHSラベル要素



注意喚起語

危険

危険有害性情報

発がんのおそれの疑い

生殖能又は胎児への悪影響のおそれ

眠気又はめまいのおそれ

長期にわたる、又は反復ばく露による臓器の障害のおそれ

長期にわたる、又は反復ばく露による以下の臓器の障害のおそれ： 男性の生殖器官。

注意書き**安全対策**

- ・使用前に取扱説明書を入手すること
- ・全ての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと
- ・保護手袋／保護衣／保護眼鏡／保護面を着用すること
- ・屋外又は換気の良い場所でだけ使用すること
- ・粉じん／煙／ガス／ミスト／蒸気／スプレーを吸入しないこと

応急措置

- ・特別な処置が緊急に必要である(このラベルの応急措置についての補足指示を参照)
- ・ばく露又はばく露の懸念がある場合：医師の診察／手当てを受けること
- ・吸入した場合：空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること
- ・気分が悪いときは医師に連絡すること

保管

- ・施錠して保管すること
- ・換気の良い場所で保管すること。容器を密閉しておくこと

廃棄

- ・内容物／容器は都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に依頼して廃棄すること

他の危険有害性

情報なし。

3. 組成及び成分情報

化学物質・混合物の区別

混合物

化学名又は一般名	CAS番号	重量%	化審法インベントリ	化審法番号	安衛法インベントリ	安衛法番号
ホルムアミド	75-12-7	40 - 50	既存	(2)-681	既存	-

化学物質排出把握管理促進法 (PRTR法)

変換係数のデータが無い場合は係数は1として算出

第1種指定化学物質

重量%

ホルムアミド 47

化学名又は一般名	政令名称	金属、CN、F、その他	変換係数	含有率 %	区分	政令番号	管理番号
ホルムアミド	ホルムアミド			47	第2種指定化学物質	2-118	815

労働安全衛生法

通知対象物質

法第57条の2、施行令第18条の2第1号、第2号別表第9及び第3号別表第3

危険性又は有害性等を調査すべき危険有害物

法第57条の3

化学名又は一般名	CAS番号	重量%	施行日
----------	-------	-----	-----

ホルムアミド	75-12-7	40 - 50	
--------	---------	---------	--

表示対象物質
法第57条第1項、施行令第18条第1号、第2号別表第9及び第3号別表第3

化学名又は一般名	CAS番号	重量%	施行日
ホルムアミド	75-12-7	40 - 50	

特定化学物質等(特化則)

毒物及び劇物取締法
該当しない

4. 応急措置

一般的なアドバイス	ばく露又はばく露の懸念がある場合：医師の診察／手当てを受けること。治療を行う医師にこのSDSを示すこと。
吸入した場合	空気の新鮮な場所に移すこと。ばく露又はばく露の懸念がある場合：医師の診察／手当てを受けること。
皮膚に付着した場合	皮膚を石けん(鹼)と水で洗うこと。
眼に入った場合	上下のまぶた(瞼)を持ち上げながら最低15分間多量の水でよく洗うこと。医師に相談すること。
飲み込んだ場合	無理に吐かせないこと。口をすすぐこと。意識のない者には、何も口から与えてはならない。医師に連絡すること。
急性症状及び遅発性症状の最も重要な徴候症状	高濃度の蒸気を吸入すると、頭痛、めまい、疲労、吐き気及び嘔吐のような症状を引き起こすおそれがある。
医師に対する特別な注意事項	症状に応じて治療すること。

5. 火災時の措置

適切な消火剤	現地の状況及び周囲環境に適した消火方法を用いること。
使ってはならない消火剤	高圧水で漏出物を散乱させないこと。
特有の危険有害性	情報なし。
特有の消火方法 大規模火災	水噴霧でドラムを冷却すること。 警告：放水では十分な消火の効果が得られない場合がある。
消火活動を行う者の特別な保護具及び予防措置	消火を行う者は自給式呼吸器及び消火活動用の完全装備を着用しなければならない。個人用保護具を使用すること。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置	十分換気されているか確認すること。指定された個人用保護具を着用すること。人員を安全な区域に退避させること。
緊急対応を行う者のための保護具	項目8で推奨されている個人用保護具を着用すること。
環境に対する注意事項	環境影響情報の詳細情報については項目12を参照のこと。
封じ込め方法	安全に対処できるならば、それ以上の漏えい(洩)又は漏出を防ぐこと。
浄化方法	回収して適切に表示された容器に移すこと。

二次災害の防止策

汚染された物体及び区域を環境規則に従って十分に浄化すること。

その他の情報

項目7及び項目8に記載されている保護措置を参照すること。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い

安全取扱注意事項

衛生対策

保管

安全な保管条件

産業衛生安全対策規範に従って取り扱うこと。皮膚、眼又は衣類との接触を避けること。この製品を使用するときに、飲食又は喫煙をしないこと。汚染された衣類及び靴を脱ぐこと。十分換気されているか確認すること。蒸気又はミストを吸い込まないようにすること。換気が不十分な場合、適切な呼吸用保護具を着用する。保護眼鏡、不浸透性の保護衣、手袋及び／又は長靴を着用すること。この製品を使用するときに、飲食又は喫煙をしないこと。休憩前及び製品の取扱い直後に手を洗うこと。

施錠して保管すること。

8. ばく露防止及び保護措置

設備対策

許容濃度

化学名又は一般名

日本産業衛生学会

労働安全衛生法 作業環境評価基準 - 管理濃度

ACGIH TLV

ホルムアミド

75-12-7

-

-

TWA: 1 ppm
Sk*

生物学的許容値

この製品は、供給されたままの状態なら、地域独自の規制団体が制定した生物学的制限値が設定された危険有害物質を一切含んでいない

環境ばく露防止

保護具

呼吸用保護具

手の保護具

眼及び／又は顔面の保護具

皮膚及び身体の保護具

情報なし。

適切な呼吸用保護具を着用すること。
適切な手袋を着用する。不浸透性手袋。
適切な眼保護具を使用すること。
適切な保護衣を着用する。長袖の衣類。不浸透性衣類。耐薬品性エプロン。不浸透性の保護長靴。

9. 物理的及び化学的性質

物理的及び化学的性質に関する情報

外観

物理状態

色

臭い

臭いのしきい値

透明、無色

液体

無色

穏やかなアミンの

情報なし

特性

融点／凝固点

沸点／沸点範囲

可燃性

爆発下限界及び爆発上限界／可燃限界

燃焼上限:

可燃性下限:

引火点

蒸発速度

自然発火点

分解温度

pH

粘度

動粘性率

値

データなし

データなし

データなし

データなし

データなし

データなし

データなし

データなし

データなし

データなし

データなし

データなし

データなし

備考・方法

情報なし

情報なし

情報なし

ASTM(米国試験材料協会) D 56

情報なし

情報なし

情報なし

情報なし

情報なし

情報なし

動的粘度		情報なし
水への溶解度	データなし	情報なし
他の溶剤への溶解度	データなし	情報なし
n-オクタノール/水分配係数(log値)	データなし	情報なし
蒸気圧	データなし	情報なし
相対ガス密度	データなし	情報なし
相対密度	データなし	情報なし
粒子特性		
粒径	データなし	該当しない
粒径分布	データなし	該当しない

その他の情報

爆発性	情報なし
酸化性	情報なし

10：安定性及び反応性

反応性	情報なし。
化学的安定性	通常の条件下で安定。
危険有害反応可能性	通常の条件下で安定。
混触危険物質	提供された情報に基づき知見なし。
危険有害性分解生成物	提供された情報に基づき知見なし。
爆発データ	
静電放電に対する感度	なし。
機械的衝撃に対する感度	なし。

11. 有害性情報

急性毒性

毒性の数値尺度 - 製品情報

以下の値はGHS文書の第3.1章に基づいて算出されている

ATEmix(経口)	51,593.30 mg/kg
ATEmix(経皮)	18,968.10 mg/kg
ATEmix(吸入 - 粉じん/ミスト)	11.10 mg/l

毒性の数値尺度 - 成分情報

化学名又は一般名	経口LD50	経皮LD50	吸入 LC50
ホルムアミド	= 5577 mg/kg (Rat)	= 6 g/kg (Rabbit)	> 21 mg/L (Rat) 4 h

症状 高濃度の蒸気を吸入すると、頭痛、めまい、疲労、吐き気及び嘔吐のような症状を引き起こすおそれがある。

製品情報

経口	この化学物質又は混合物の特定試験データはない。
吸入	眠気又はめまいのおそれ。
皮膚接触	この化学物質又は混合物の特定試験データはない。
眼接触	この化学物質又は混合物の特定試験データはない。
皮膚腐食性/刺激性	利用可能なデータに基づき、分類基準を満たさない。 分類できない。
眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性	利用可能なデータに基づき、分類基準を満たさない。 分類できない。
呼吸器感作性又は皮膚感作性	分類できない。

生殖細胞変異原性	利用可能なデータに基づき、分類基準を満たさない。 分類できない。	
発がん性	発がん性が知られている又は発がん性が疑われる物質を含んでいる。 成分に対して利用可能なデータに基づく分類。 発がんのおそれの疑い。 下表は各機関が何らかの成分を発がん性として記載しているかを示す。	
	化学名又は一般名 ホルムアミド 75-12-7	IARC 2 -
生殖毒性	成分に対して利用可能なデータに基づく分類。 生殖能又は胎児への悪影響のおそれ。	
特定標的臓器毒性(単回ばく露)	眠気又はめまいのおそれ。	
特定標的臓器毒性(反復ばく露)	長期にわたる、又は反復ばく露による臓器の障害のおそれ。 長期にわたる、又は反復ばく露による以下の臓器の障害のおそれ： 男性の生殖器官。	
誤えん有害性	利用可能なデータに基づき、分類基準を満たさない。 分類できない。	

12. 環境影響情報

生態毒性

化学名又は一般名	藻類／水生植物	魚類	甲殻類
ホルムアミド	EC50: >500mg/L (72h, <i>Desmodesmus subspicatus</i>) EC50: >500mg/L (96h, <i>Desmodesmus subspicatus</i>)	LC50: =9135mg/L (96h, <i>Brachydanio rerio</i>)	EC50: >500mg/L (48h, <i>Daphnia magna</i>)

残留性 分解性

情報なし。

生態蓄積性
成分情報

この製品のデータはない。

化学名又は一般名	分配係数
ホルムアミド 75-12-7	-0.82

オゾン層への有害性
他の有害影響
内分泌かく乱物質情報

分類できない。 利用可能なデータに基づき、分類基準を満たさない。
情報なし。

13. 廃棄上の注意

残余廃棄物	現地の規則に従って廃棄すること。 環境法律に従って廃棄物を廃棄すること。
汚染容器及び包装	空容器を再利用しないこと。

14. 輸送上の注意

IMDG		
国連番号又はID番号	UN1760	
品名(国連輸送名)	その他の腐食性物質(液体)(他の危険性を有しないもの)	
説明	UN1760, 腐食性液体、その他特に指定なし (Formamide), 8, III	
国連分類(輸送における危険有害性8クラス)		
容器等級	III	
海洋汚染物質	NP	
EmS番号	F-A, S-B	
特別条項	274, 223	
ADR		
国連番号又はID番号	UN1760	

品名 (国連輸送名)	その他の腐食性物質 (液体) (他の危険性を有しないもの)
説明	UN1760, 腐食性液体、その他特に指定なし (ホルムアミド), 8, III, (E)
国連分類 (輸送における危険有害性8 クラス)	
容器等級	III
ERG コード	8L
特別条項	274

IATA

国連番号又はID番号	UN1760
品名 (国連輸送名)	その他の腐食性物質 (液体) (他の危険性を有しないもの)
説明	UN1760, 腐食性液体、その他特に指定なし (ホルムアミド), 8, III
国連分類 (輸送における危険有害性8 クラス)	
容器等級	III
特別条項	A3, A803
ERG コード	8L

日本

国連番号又はID番号	UN1760
品名 (国連輸送名)	その他の腐食性物質 (液体) (他の危険性を有しないもの)
説明	UN1760, 腐食性液体、その他特に指定なし (ホルムアミド), 8, III
国連分類 (輸送における危険有害性8 クラス)	
容器等級	III

15. 適用法令

国内規制

化学物質排出把握管理促進法 (PRTR法)
該当する 詳細情報については項目3を参照
労働安全衛生法

通知対象物質
法第57条の2、施行令第18条の2第1号、第2号別表第9及び第3号別表第3
危険性又は有害性等を調査すべき危険有害物
法第57条の3
表示対象物質
法第57条第1項、施行令第18条第1号、第2号別表第9及び第3号別表第3
皮膚等に有害な物質

毒物及び劇物取締法

該当しない

消防法

引火性液体、第4類、第3石油類、水溶性液体、危険等級 III、4000リットル
化学物質の審査及び製造等の規制に関する法律 (化審法)
該当しない

船舶安全法

詳細については項目14を参照

航空法

詳細については項目14を参照

海洋汚染及び海上災害の防止に関する法律

該当しない

港則法

詳細については項目14を参照

国際規制

残留性有機汚染物質に関するストックホルム条約 該当しない

ロッテルダム条約 該当しない

国際インベントリー

IECSC -。

凡例:

TSCA - 米国有害物質規制法セクション8(b)、インベントリー
DSL/NDSL - カナダ国内物質リスト/非国内物質リスト
EINECS/ELINCS - 欧州既存商業化学物質インベントリー/欧州新規届出商業用化学物質リスト
ENCS - 化審法既存物質
IECSC - 中国現有化学物質名録
KECL - 韓国既存化学物質インベントリー
PICCS - フィリピン化学品 化学物質インベントリー
AICS - オーストラリア化学物質インベントリー
NZIOG - ニュージーランド化学物質インベントリー
TCSI - 台湾既存化学物質インベントリー

16. その他の情報

改訂日 2024-10-10
改訂記録 情報なし。

安全データシートで使用されている略語及び頭文字のキー又は凡例

凡例 セクション8: ばく露防止及び保護措置

TWA	加重平均	天井値	最大限界値
*	経皮吸収	+	感作性物質
**	危険有害性表示		

本SDSの編集に使用した主要参考文献及びデータ源

環境有害物質 特定疾病対策庁 (ATSDR)
米国環境保護庁ChemViewデータベース
欧州化学品局
欧州食品安全機関 (EFSA)
米国環境保護庁
急性ばく露ガイドラインレベル (AEGL)
米国環境保護庁、連邦殺虫剤、殺菌剤、殺鼠剤法
米国環境保護庁高生産量化学物質
フードリサーチジャーナル (Food Research Journal)
危険有害性物質データベース
国際統一化学情報データベース (IUCLID)
製品評価技術基盤機構 (NITE)
オーストラリア国家工業化学品届出審査機構 (NICNAS)
NIOSH (米国労働安全衛生研究所)
米国医学図書館ChemID Plus (NLM CIP)
米国医学図書館のPubMedデータベース (NLM PubMed)
米国国家毒性プログラム (NTP)
ニュージーランド化学物質分類 情報データベース (CCID)
経済協力開発機構、環境・健康・安全に関する文書
経済協力開発機構、高生産量化学物質点検プログラム
経済協力開発機構、スクリーニング情報データセット
世界保健機構

免責事項

この安全データシートは、JIS Z 7253:2019 に準拠している。このSDSに記載されている内容は、発行日時点の知見、情報に基づき正確を期したものです。ここに記載されている情報は当該製品の安全な取扱い、使用、加工処理、保管、運搬、廃棄、漏えい(洩)時の処理など指針とすることのみを目的としたものであり、いかなる保証をするものではなく、また品質仕様ではありません。本文中に明記されている場合を除き、他の何らかの材料と組み合わせて使用した場合、又は何らかのプロセスに使用した場合には、有効でなくなる場合があります。

安全データシートのおわり